

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人桃郷 つくしんぼ園		
○保護者評価実施期間	2025年10月29日		2025年11月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	2025年11月4日		2025年11月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 24
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月5日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達相談員が常駐し、普段の子供の様子を把握したうえで、年2回全員の子ども発達検査を実施し、保護者、保育士、保健師、園長が子供の発達状況を共有理解できるよう丁寧な説明を受けることが出来ています。保護者も保育士も、必要時子どもの発達についての相談ができ適切な助言が得られ、医療機関との連携ができています。	発達検査の後、保護者、保健師、保育士が検査結果を踏まえた説明を聞き、家庭や園での様子を話すことで、子どもの発達を共通理解し課題を共有しながらかわることができています。	通園児だけではなく、兄弟を含めた家族支援等を充実させる取り組みも必要だと考え、相談対応に力を入れています。
2	給食、おやつメニューについては、偏食についての個別の対応を保護者と協議のうえでを行っています。	子ども自身が食事の時間を「楽しい時間」と感じられるよう、食べられる食品を準備し、お友達と楽しみながら少しずつ食事の幅を広げていく取り組みをしています。	本人の様子を見ながら、個別に継続的に保護者と連携して進めていきます。
3	保護者教室や親子保育等、グループ交流会などでの保護者に対する家族支援に力を入れて取り組んでいます。	保護者同士が積極的に交流し、ピアカウンセリングが行えるように働きかけています。	保護者の意見を反映させながら継続していきたいと思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の意見に多かった他の園や、地域での他の子供との活動について、5歳児と併行通園児は交流の機会がありますが、それ以外の園児は地域の園との交流活動の機会が持っていないことが現状です。	アドバイザー事業や、保育士等訪問支援事業等の実施がないたきっかけがつかみにくいと考えています。	地域の小規模な園との交流や活動ができる機会を計画していけたらと考えています。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人 桃郷 つくしんぼ園

公表日 2026年2月4日

利用児童数 31名

回収数 31名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	3	1	0	園庭がもう少し開ければいいと思うが、安全面を配慮すると十分である。	園庭の自然を含めて良さを伝えていきたいと考えます。 雨天時での中遊びでは、園舎内スペースが少し狭く感じることもあるかと思えます。活動スペースが圧迫されないようにするための廊下の活用の工夫と、2階スペースの確保を検討していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	31	0	0	0	時折先生が少なく、忙しそうだなと感じるときはある。	人員不足のため、随時募集を行い人員の確保に努めています。他のセンターからの応援も依頼し、配置人数を適正に保ち保育に影響が出ないよう努めているところです。 今後、新たな求人活動も積極的に進めていきたいと考えています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30	1	0	0		教室、ホールなどわかりやすい構造に作られています。階段昇降時の注意を守る安全教育を、園児に伝えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	1	0	0		心地良い環境づくりに取り組んでいきます。子どもたちの活動に合わせた動線になるよう工夫に努めます。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	3	0	1		発達相談等で、子どもの特性を個々に把握し、情報共有を行いながら保育を行うよう心掛けています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31	0	0	0		支援プログラムを、事業所の提供する支援内容と合わせるようにしています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31	0	0	0		ニーズや課題を検討した上で、児童発達支援計画（個別支援計画）を作成するよう心がけています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	0	0	0		具体的な支援内容が設定できるように、必要な支援課題の抽出に取り組むようにしています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31	0	0	0		計画に沿って支援ができるように努めています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28	2	0	1	日替わりで変らされている。	活動の実施評価を行いながら内容を、園児に合わせて見直すようにしています。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	8	10	10	3	・まだ4歳児なので・・・。 ・今のところ交流を持っていない。 ・4歳児にも交流する機会を作ってほしい。	5歳児では、他園（発達支援事業）との5歳児交流を実施しています。 地域の子ども園との交流は、転園を検討しての体験や、併用通園児以外の交流は実施出来ていません。交流できる方法を検討していきたいと思えます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	2	0	0		運営規定や重要事項説明、支援計画、利用者負担等の説明に努めています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	0	0	0		個別支援計画について、支援会議で内容説明を行っています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	30	1	0	0	・仕事を休んで平日に行くことが難しく保護者教室、親子保育が負担です。 ・親子保育や親子教室をしている。	月に1度、保護者教室を開催し研修会や情報提供の機会を設けています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	30	1	0	0	できれば園でできなかった事、困ったことも日誌に書いてくださると参考になります。	送迎時や、連絡ノート、必要時随時電話連絡を取り共通理解に努めています。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	1	0	0		年2回の発達相談と、年1回の家庭訪問は定期的実施しています。連絡ノートや送迎の際には話しやすい状況をとっていますが、バス送迎の保護者とのコミュニケーションにも気を付けて、親子保育の機会などで声掛けをしていきたいと思えます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	2	0	0		職員全体で、共感的支援を行っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	28	3	0	0		毎月3回の親子保育や、グループ別交流会、年5回の5歳児交流会、園行事で役割担当を持ち交流を行えるように努めている。夏祭りや、ファミリーレリレーションなど家族ぐるみでの参加交流も行っています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	31	0	0	0		気になることは気軽に相談してくれるよう声掛けするとともに、質問しやすい、話したいと思える環境づくりのためノートや電話、送迎時、及び発達相談や懇談等様々な機会を通じて情報共有を行っています。相談申し入れがあれば迅速に面談、家庭訪問を実施しています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	2	1	0	連絡帳や口頭で伝達されている。	情報伝達について、連絡ノートや電話だけでなく、いつでも意思疎通できているので安心と感じていただけるように、丁寧に情報伝達していくように工夫します。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	27	2	1	1	・お便りなどで発信されている。 ・桃郷で行われている。	定期的に毎月の会報や、さくら連絡網での連絡体制、法人全体のHP等でもお知らせを行うようにします。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	1	0	0		個人情報の取り扱いにはさらに注意し、取り組んでいきます。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	1	0	1		マニュアルを作成して対策していることの周知を工夫していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29	2	0	0	毎月避難訓練をしている。	毎月、地震、火事の想定で避難訓練を行っています。今年度家族登園日に消防署による火災の防火訓練及び、煙の中の避難訓練を実施し保存食の試食をしました。今後避難経路などを具体的に想定して保護者にも情報共有するとともに、引き渡し訓練を考えています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31	0	0	0		安全の確保を十分に行なった上で支援するよう努めています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	31	0	0	0		怪我等の連絡は、発生時と受診後の状況報告を行い説明をさせていただいています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	31	0	0	0		通園して毎日を楽しそうに活動してくれています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	30	1	0	0		子どもの様子について、送迎時や、連絡ノートや電話などで、共有しながら保護者とともに、子どもの行き渋りの原因の解消に努めていきたいと思えます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	0	1	0	・有料で良いのでバス通園を使いやすくしてほしい。	満足していただけるように努力していきたいと思えます。バスについては子ども様子を共有するため、原則保護者送迎としており、ご家庭の事情に応じた柔軟な対応をさせていただいています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人 桃郷 つくしんぼ園					公表日	2026年2月4日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	24	0	3グループで適切な配置になっている。 雨天時の自由遊びなどは、廊下やホールを利用してのびのび遊べるよう工夫しています。	発達支援室等のスペースは個別で確保できているが、保護者面談・来園者・会議に使える部屋が重なるとう慮している。スペースを活用して工夫していきたいと思います。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	23	1	・法人内の他の事業所からの、保育士の応援で日々の保育を行っています。	・少し少ないと感じることがあるが、人数的には適切な配置だと思います。 ・他の事業所からの応援で日々の保育を行っているが常勤職員で配置出来る必要があります。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	24	0	保育室には必要なものだけ置かれており、階段は手すりなども設置されている。	身体機能に課題がある児に対し、階段昇降などに配慮し1対1でフォローする必要がある。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	24	0	毎日保育終了後、全員での清掃を実施清潔を保てるよう努力している。	引き続き、清潔保持出来るようにする。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	24	0	個別の部屋はないが、子ども自身落ち着きたいときや切替たいときは、自分から部屋を出て落ち着くために別のところに行ったりしている。	子供それぞれに落ち着ける場所を作って利用できるように寄り添っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	24	0	毎日の保育の反省会に時間をかけて話し合っている。 年3回総括を行い、反省・見直しで計画の検討を行っている。	今後も継続していく。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	24	0	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握するとともに、気づいたことは保護者から直接伝えてもらえるよう声掛けをしている。	今後も継続していく。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	24	0	職員会議や反省会等で意見を出し合い、業務改善につなげている。	今後も継続していく。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	21	3	外部から勤務している保育士等から評価されている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	24	0	外部の研修受講機会やオンライン研修で受けられる機会を増やし、法人内の研修も充実させて質の向上を目指しています。	今後も継続します。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	24	0	プログラムを作成し公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	24	0	個々のこどもに対して年2回発達相談をもとにアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しています。	今後も継続します。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	24	0	こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、検討し児童発達支援計画を作成しています。	今後も継続します。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	24	0	児童発達支援計画を職員間で共有し支援を行っています。	今後も継続します。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	24	0	ツールの活用だけでなく、多職種でのアセスメントを実施。			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	24	0	個別支援計画で「本人支援」、「家族支援」は具体的な支援内容を設定し、必要な支援課題の抽出し取り組むようになっています。	「移行支援」「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、今後も継続します。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	24	0	毎月グループ会議で月計画し、毎日合同でデイリープログラムの反省と打ち合わせをして活動プログラムを検討している。	今後も継続します。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	24	0	目指す発達のために固定化せず、豊かな経験を重ねる活動プログラムになるよう打ち合わせで工夫している。	今後も継続します。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	24	0	個々の生活・遊び・コミュニケーション課題に応じた集団保育の中での個別課題をもとに計画を作成しています。	今後も継続します。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	24	0	前日と毎朝に必ず打ち合わせして確認して保育を開始しています。	今後も継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	24	0	毎日全体で反省し、打ち合わせを行って日誌に記録し、支援の検証や改善につなげている。グループ保育と個々の状況を振り返り共有している。	今後も継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	24	0	日々の保育記録として支援と反省は、日誌に記録している。又、毎日保護者には連絡ノートに記録し伝えていきます。	今後も継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	24	0	年2回～5回モニタリングを実施し、保護者の承認を得て見直しを行っています。	今後も継続していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	24	0	担当保育士や発達相談員等、子どもの状況を最も理解している職員が参画しています。	今後も継続していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	24	0	橋本市児童発達支援事業所と保育県内障保連、児童発達支援センターと連携して助言や情報を得ています。	今後も継続していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	24	0	橋本市児童発達支援事業所と保育県内障保連、児童発達支援センターと連携して助言や情報を得ています。	今後も継続していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	24	0	併行通園や、庭園に向けた支援を行っている。必要に応じて保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。	今後も継続していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	20	0	就学先の小学校や特別支援学校(小学部)との間で、相互の見学や、体験などを実施し情報共有と相互理解に努めています。	今後も継続していきます。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	18	0	5歳児とその保護者は、地域の他の障害児通所支援事業所等と年数回の交流を実施し、連携を図っています。	今後も継続していきます。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	18	2	主に園長が参加しています。	今後も継続していきます。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	21	3	・5歳児のみ他の療育施設との交流を行っています。こども園とは交流はないが、散歩や園外活動で地域とかかわりを持っています。 ・併行通園で通園先の園とは交流しています。 ・園訪問事業で橋本市の園とは、保育士の交流はあります。	・併行通園児は地域の園と交流はあるが、他の園児では交流する機会を持っていません。 ・個人では一時保育を利用し交流しているが園としては取り組めていないので機会を検討していきたいと思っています。	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	24	0	日常の連絡ノートや電話、送迎時や支援会議に伝え合って共通理解するように動いています。	今後も継続していきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	24	0	保護者教室、親子保育の機会に、家族の対応力の向上を図る支援を行なっています。	今後も継続していきます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	24	0	運営規程を保護者に説明し配布しています。	今後も継続していきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	24	0	支援会議や面談にて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けています。	今後も継続していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	24	0	個別支援計画について、支援会議で内容説明を行い同意を得ています。	今後も継続していきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	24	0	定期的な面談や支援会議、家庭訪問に必要な助言と支援を行っています。	今後も継続していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	23	1	・親子保育が月3回あるので保護者交流の機会は充実しています。 ・家族通園や行事等で兄弟交流の機会の時間があります。	・両親ともに就労している家庭が増えているため負担軽減する必要があります。兄弟交流は今後の課題。 ・保護者同士の交流は多いが兄弟同士の交流も
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	24	0	気になることは気軽に相談してくれるよう声掛けをするとともに、質問しやすく話したいと思える環境づくりのためノートや電話、送迎時、及び発達相談や懇談等様々な機会を通じて情報共有を行なっています。相談申し入れがあれば迅速に面談、家庭訪問を実施しています。	今後も継続していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	24	0	定期的に毎月の会報や、さくら連絡網での連絡体制、法人全体のHP等でもお知らせを行うようにします。	より一層充実できるよう努力していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	24	0	個人情報の取り扱いには注意し、取り組んでいきます。	今後も継続していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	24	0		情報伝達の方法などを協議する必要性を感じています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	24	0	夏祭りや運動会、発表会などの行事では区長さんに招待状を送り地域の方につくしんぼ園を知ってもらう機会にしている。	今後も継続していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	23	0	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員には周知しています。今年度はファミリーレクリエーションで、消防士による防火訓練や避難訓練を実施し保存食の試食を行いました。	マニュアルはあり、訓練は行っているものの、発生を想定した具体的な、種別訓練を計画しています。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	23	0	避難訓練を行い、今年度は家族登園日に子供たちがどのくらい非常食が食べられるか確認した。	今後も継続していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	23	0	保護者から服薬や、てんかん発作等のこどもの状況を確認し、医師からの指示事項を提出いただいています。	今後も継続していきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	23	0	保護者を通じて情報を把握しています。	医師の指示書に基づく対応について検討する必要があります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	23	0	訓練時は、安全の確保を十分に行なった上で支援するよう努めています。	今後も継続していきます。
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	24	0	毎月、お便りを取り組みについてお知らせしたうえで、地震、火事の想定で避難訓練を行っています。	今後避難経路などを具体的に想定して保護者にも情報共有するとともに、送迎バスでの想定なども検討する必要があると考えています。	

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	24	0	起こった事例に対し職員間で共有し、対策について話し合っている。	今後も継続していきます。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	24	0	毎年、虐待を防止の、職員の研修を実施しています。	今後も継続していきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	22	2	身体拘束は行っていません。	自分が理解できていないという職員もいるため、研修等で教育啓発が必要。